

# 北海道の空港民営化

札幌学院大学 土居ゼミ

青木悠 稲岡凌 江口裕之 遠藤祐輝 工藤陽平

齊藤大河 新林尚樹 菅原秀 道順文哉 横川翔平

# 空港民営化をテーマに挙げた理由

- 現在、国内にインフラストックが存在し、更新費用が今後50年で約190兆円不足
  - 2030年頃には新規費用が賄いきれなくなる
  - 日本国内のほとんどの空港が赤字である
- ↓
- 最終的に空港施設の維持管理が困難になる
- ↓
- 問題解決策として北海道内で空港の民営化が進められている！！

# 空港民営化が進められている背景

- 現在は新千歳以外、空港収支が赤字である
- 赤字を解消するために7つの空港を一括委託し民営化する方向で話が進められている
- 観光客の増加、航空路線の拡充、運航体制の強化に向け、民間のノウハウを取り入れる考え

# 土居ゼミの調査内容

- 北海道の空港民営化で買い手が見つかるのか？  
→ 空港の収支と北海道を訪れる観光客数の推移、民営化のメリット・デメリットを調査
- 民営化して買い手を付けさせるために有効な政策を調査
- 道内需要に着目

# 研究内容から得られた結果

- 北海道内の空港では民営化した際に買い手がつく空港と買い手が見つからない可能性がある空港の2つが存在することが分かった
- 確実に買い手をつけるために非航空系事業との結びつきの拡大が必要である

# 目次

1. 北海道の空港について
2. 空港民営化について
3. 民営化で成功の可能性がある空港
4. 空港民営化を成功させるために
5. 全体のまとめ
6. 参考文献



# 1. 北海道の空港について

# 北海道の空港



北海道には新千歳空港、函館空港、奥尻空港、丘珠空港、旭川空港、帯広空港、釧路空港、中標津空港、女満別空港、紋別空港、稚内空港、利尻空港、礼文空港の13の空港があります。

※礼文空港は利用客数が少ないことや北海道の財政が逼迫していることを理由に現在休止中。



# 管理主体

- 国管理空港・・・新千歳空港、函館空港、釧路空港(たんちょう釧路)、稚内空港
- 地方管理空港・・・女満別空港、紋別空港、利尻空港、奥尻空港、礼文空港、中標津空港
- 特定地方管理空港・・・旭川空港、帯広空港(とがち帯広)
- 共用空港・・・札幌飛行場(丘珠)
- 会社管理空港(民間空港)

# 航空系事業・非航空系事業

民間or第三セクター

- ・航空系事業とは滑走路等の管理運営
- ・非航空系事業とは旅客ターミナル等の管理運営

国or地方自治体



# 空港管理会社

## 北海道空港株式会社

- ターミナルビル、倉庫等の貸室業
- オフィスビル、商業施設等の不動産賃貸 約2割
- 食堂ならびに売店の経営 約8割

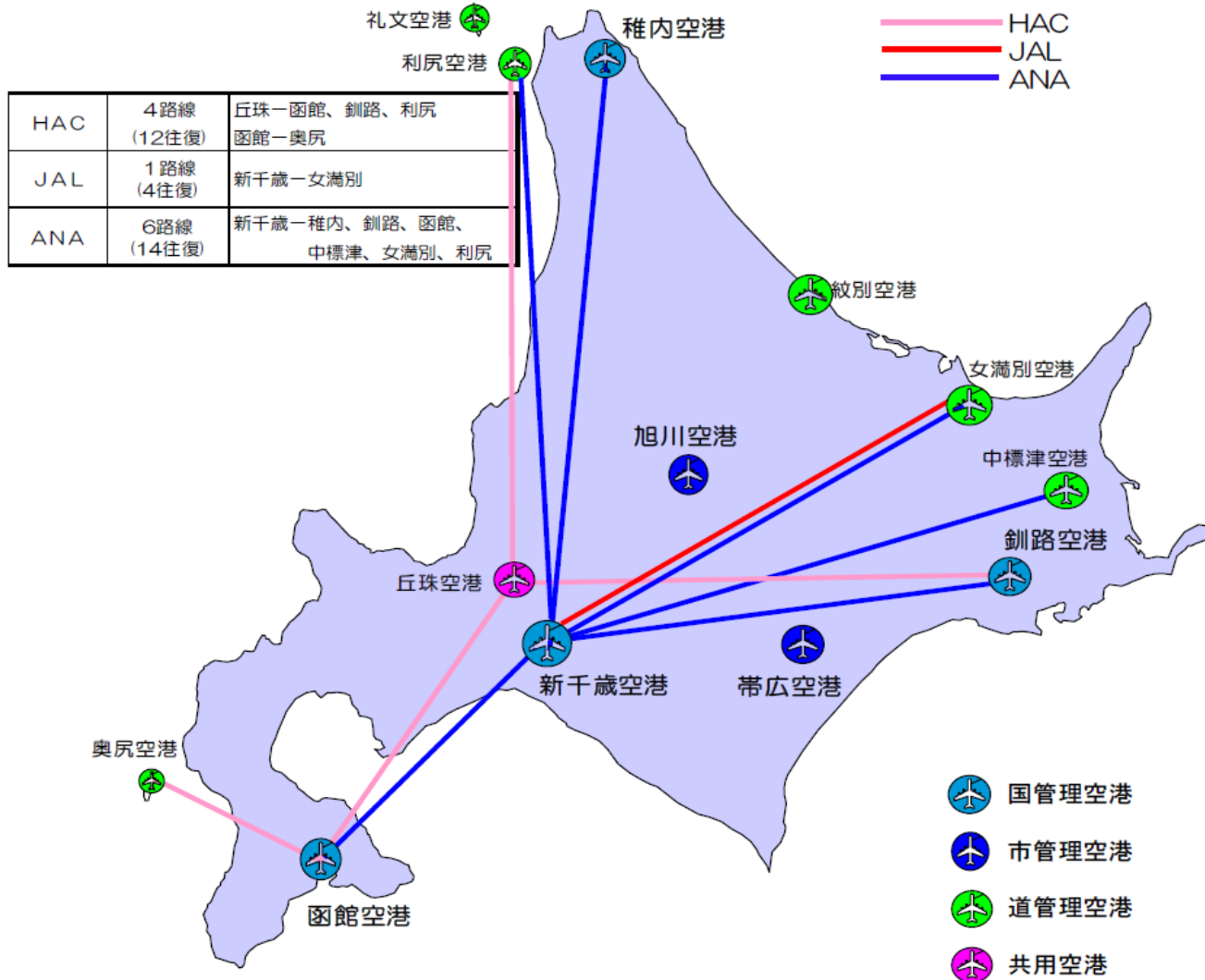
# 道内空港民営化の議論の流れと、今後のゆくえ

- 国管理4空港に道・市管理を加えた7空港（新千歳、函館、釧路、稚内、帯広、旭川、女満別）の一括委託が望ましいと明記。
- 民営化する理由・・・北海道の経済発展、観光客数の増加、空港の立て直し、航空路線の拡充
  - LCCの新規就航、既定路線による利用促進

※日経9/7、10/8

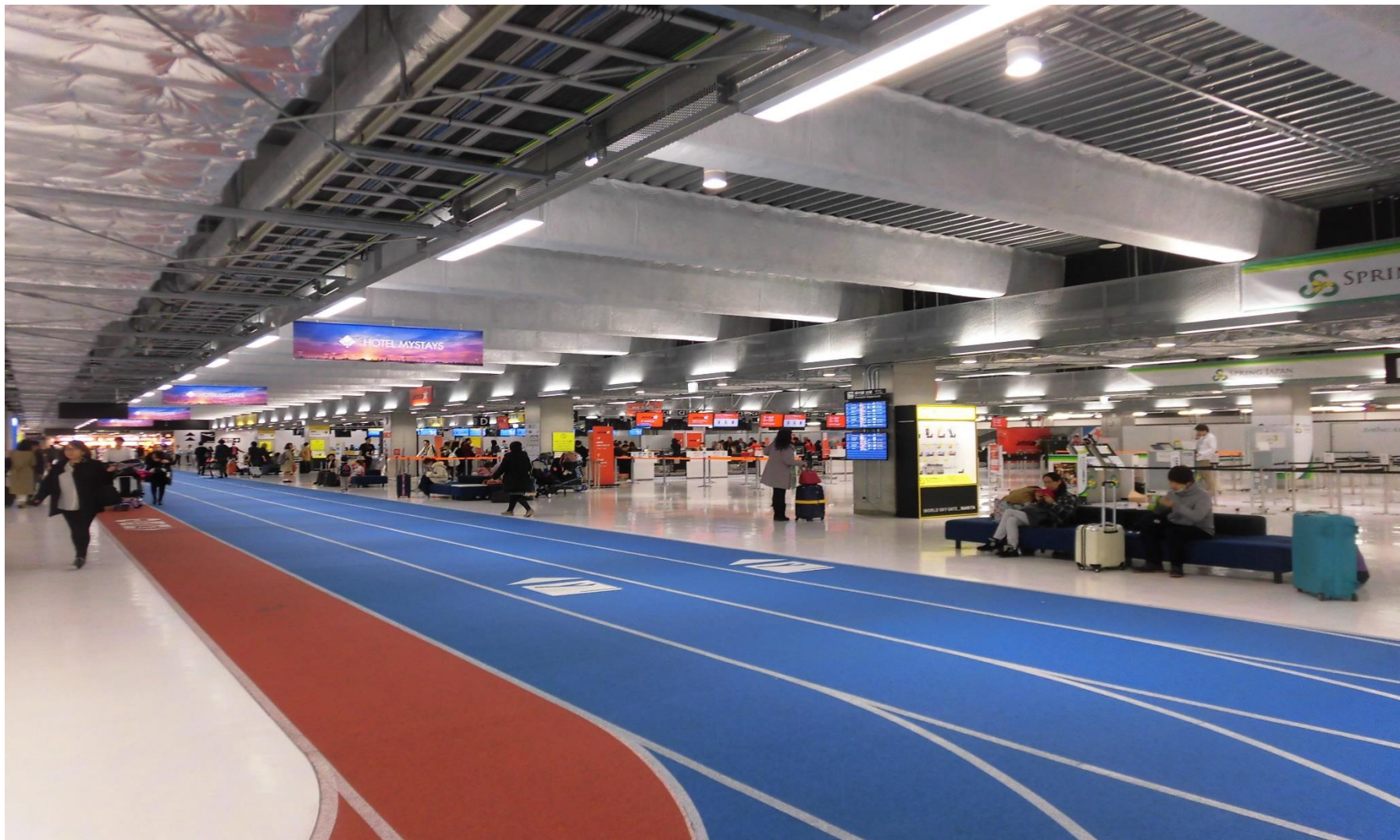
# 道内路線網

■HAC・JAL・ANA道内航空路線網図（平成28年6月）



新千歳空港～稚内空港  
 車での移動時間 約5時間  
 飛行機での移動時間 約1時間

格安航空会社(LCC)のピーチが新千歳を  
 拠点化し新規路線の開設を検討。(日経  
 新聞2016年10月8日)



## 2. 空港民営化について

# 道外の民営化状況

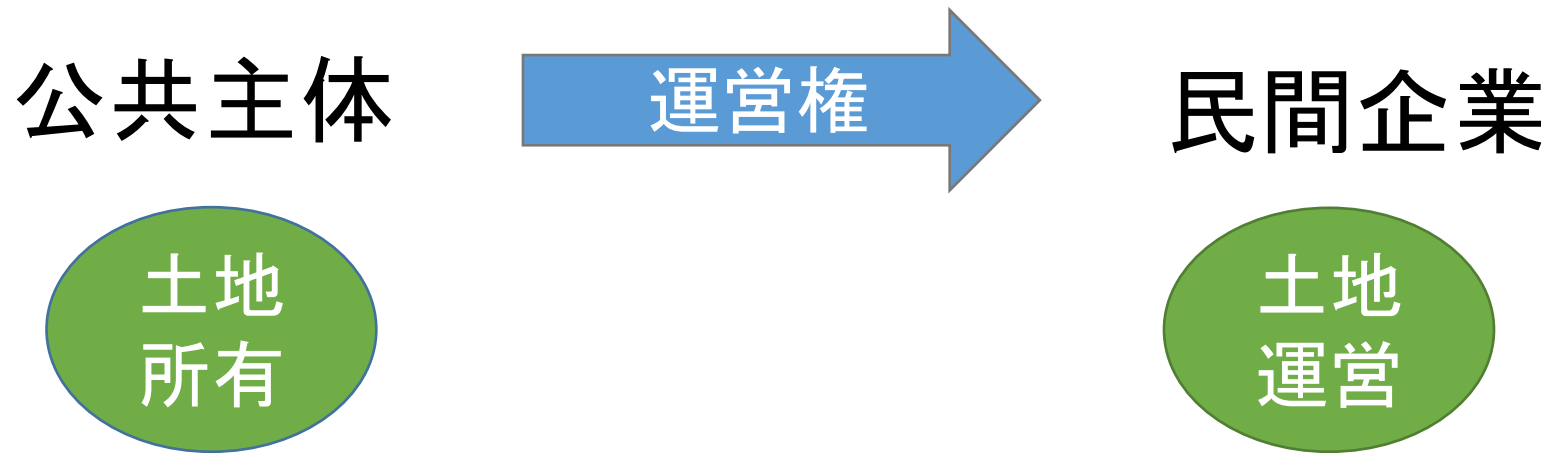
- 仙台空港

今年の7月から民営化 LCCの誘致に力を入れる

- 広島空港 2017年7月 予定
- 高松空港 2018年4月 予定
- 神戸空港 2018年4月 予定
- 福岡空港 2019年4月 予定

日経10/12 11/18 7/23

# コンセッション



- 柔軟な制度設計が可能になるほか、公共主体は土地等の所有権の立場から影響力を確保することができる。



# 民営化のメリット

- 民間手法による施設の有効活用などの空港運営の効率化
- 航空系事業と非航空系事業の一体運営
- 国のインフラ整備の負担が減少

『空港経営と地域』 『航空産業入門』 参考

# 民営化のデメリット

- 料金の高止まり
- 空港設備に対する投資が減少
- 買い手が見つからない

『空港経営と地域』 『航空産業入門』 参考

# 海外の事例

## ●シカゴ市が管理する国際空港 シカゴ・ミッドウェイ空港

2009年に一度目の入札を行うが落札者が無く、入札は不成立となる

2013年に二度目の入札を行い一次入札に16社が応募してきた

三次入札に進んだ2社のうち1社が入札を辞退

競争的な入札環境を確保できずに、市は入札プロセスを断念

## ○入札辞退の背景

- ・ 空港の拡張余地がない・シカゴ市の要求フィー水準の高さ



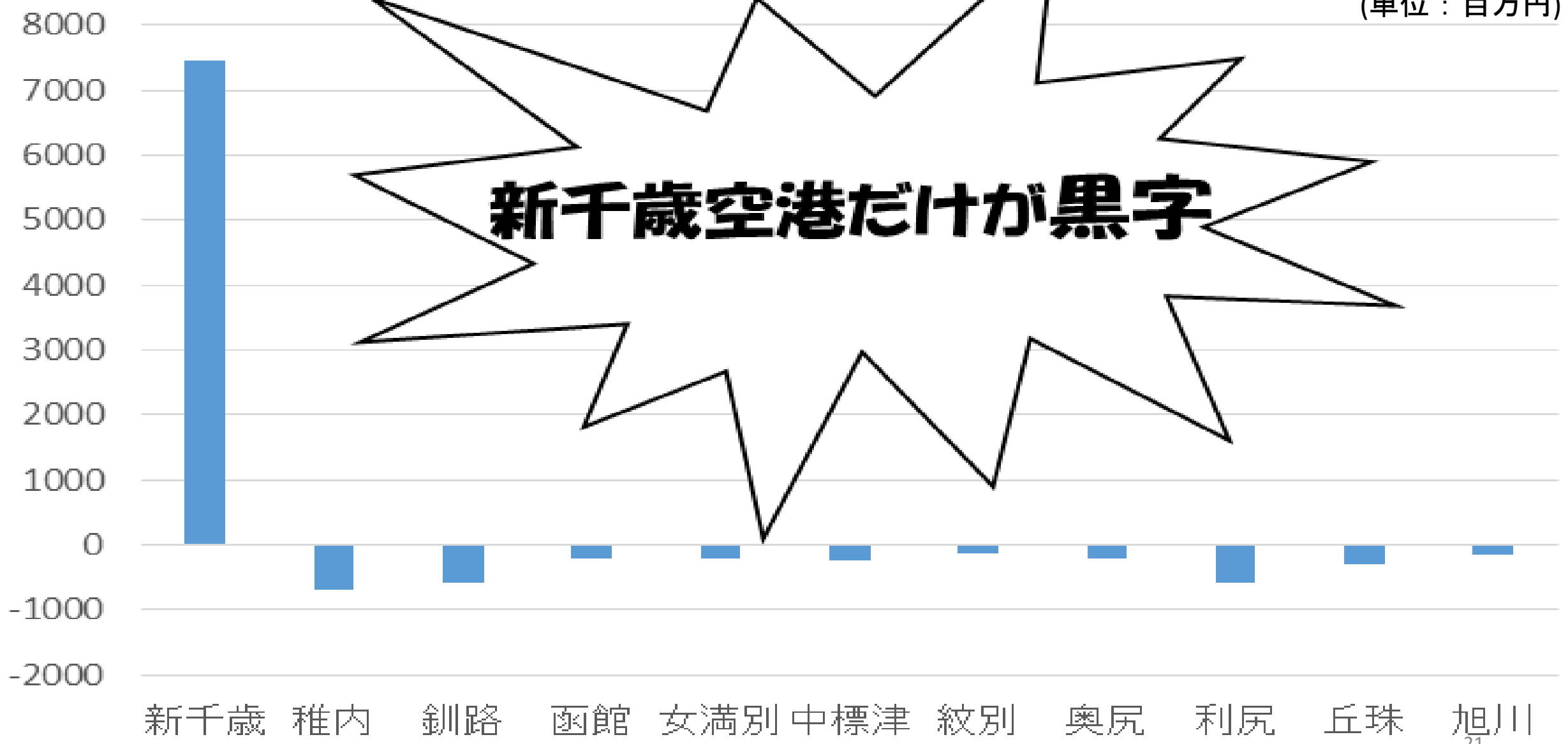
### 3. 民営化で成功の可能性のある空港

# 空港収支

平成25年度参考

(単位：百万円)

**新千歳空港だけが黒字**



# 仙台空港の収支(航空系事業のみ)

(単位: 百万円)



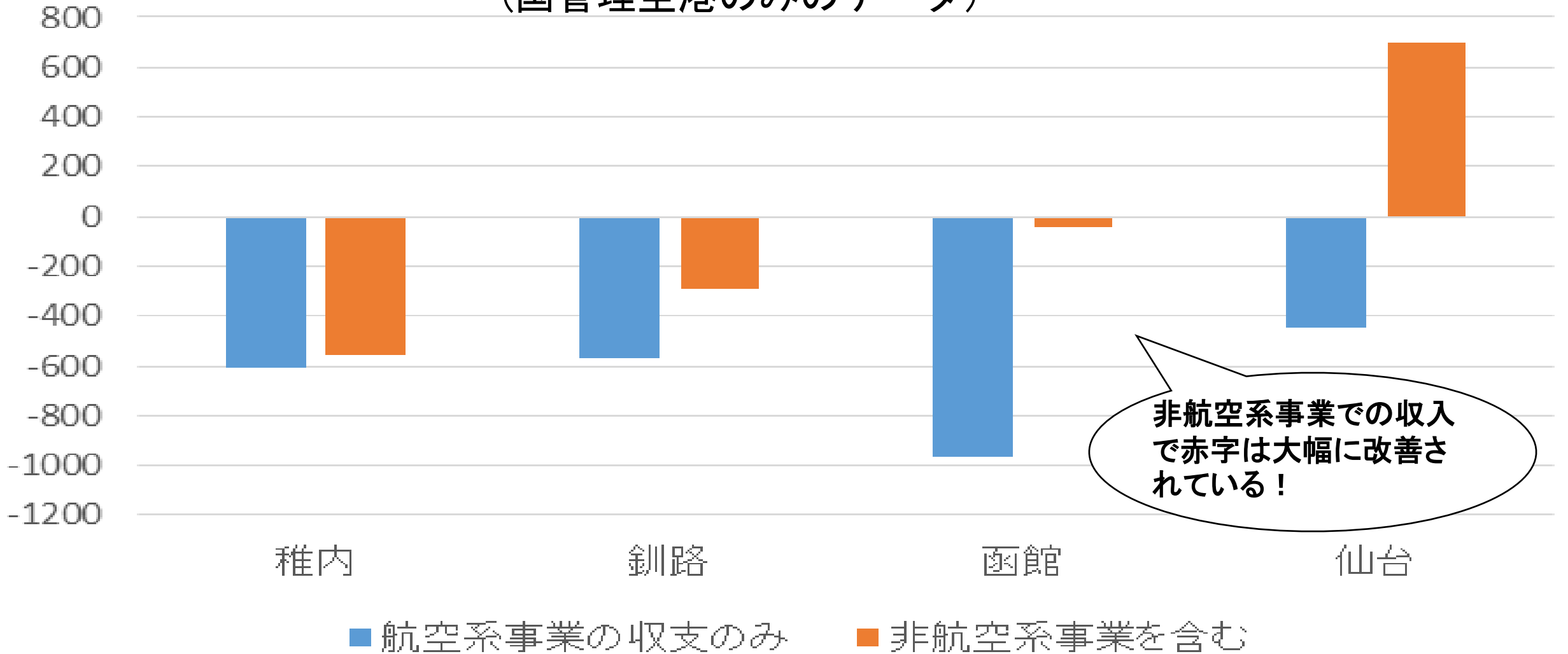
※平成23年～25年は東日本大震災の影響による復旧のための空港整備経費や被災から運航再開までの間の着陸料収入減等、特殊要因が伴うためマイナス値が大きくなっている。

また、平成22年以前はそれ以降とは比較するのが不可能のデータのため記載なし

国土交通省  
「空港別収支試算結果について」より

# 非航空系事業から見えるもの (国管理空港のみのデータ)

平成26年度参照  
(単位:百万円)



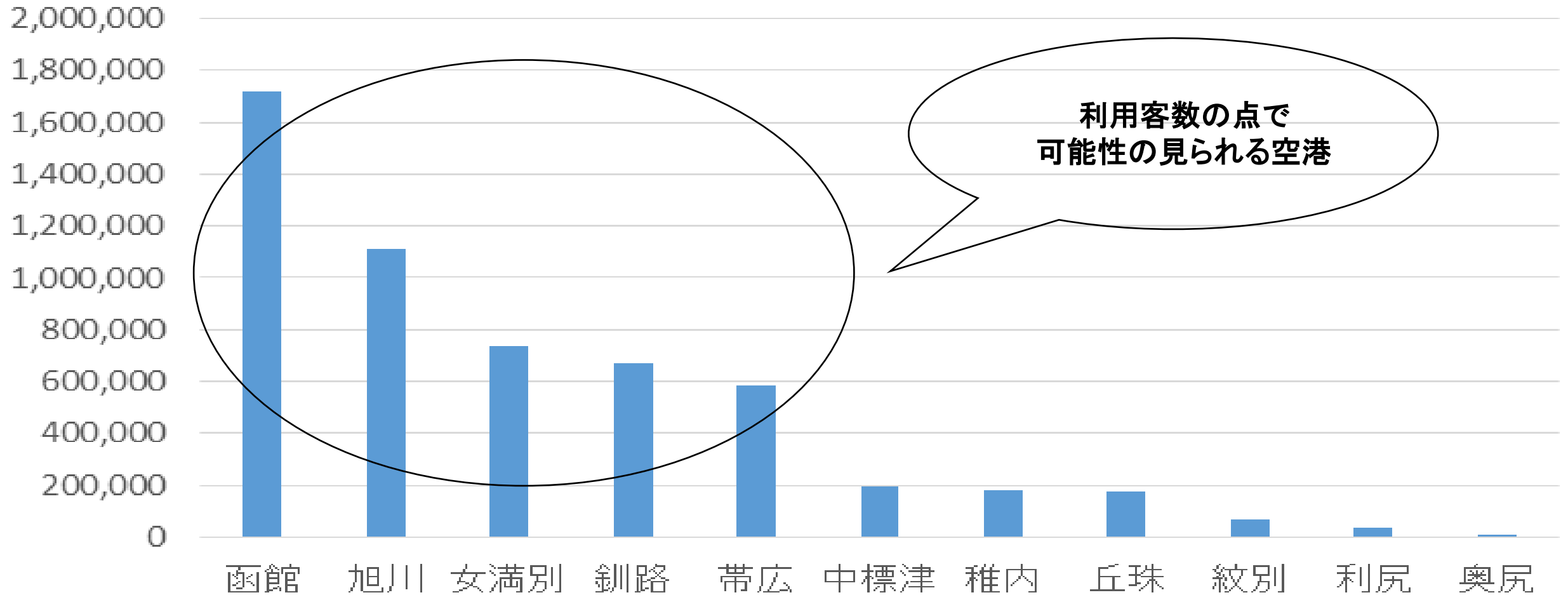
非航空系事業での収入で赤字は大幅に改善されている！

※公表されている国管理空港以外は情報が明確ではないので他の道内空港に関しては記載なし

国土交通省  
「空港別収支試算結果について」<sup>23</sup>

# 平成26年度 利用客数

(単位:人)



※新千歳は合計で19530561人の多数の利用客数がいた。



# 利用客数・収支での民営化の可能性

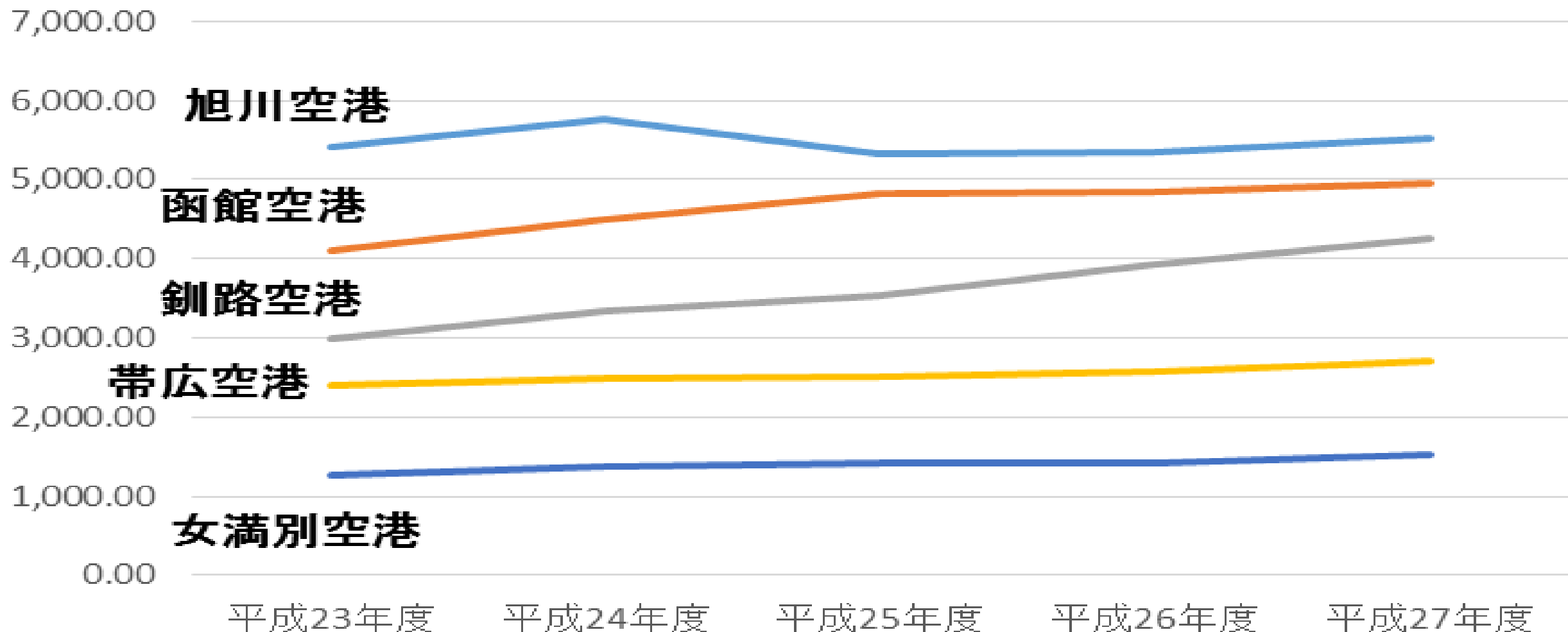
	新千歳	函館	旭川	女満別	釧路	帯広	中標津	稚内	丘珠	紋別	利尻	奥尻
利用客数	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
収支	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○

**道内で可能性があるのは  
5 空港！**

利用客数は平成26年、  
収支は25年のものを使用

# 観光入込客数

(単位:千人)



# 北海道の空港で 民営化の可能性のある空港

- 新千歳は民営化しても成功するといえる。
- 非航空事業の効果から見て、  
函館空港は民営化の見込みがあると思われる。
- 利用客数と収支の点からみると新千歳を加えた5空港に可能性  
がある。
- 特に新千歳、函館空港、旭川空港に可能性がある。



## 4. 空港民営化を成功させるために

# 民営化成功のための案

➤ 航空機は移動手段であり、航空機を利用する目的は他にある（目的を工夫する必要がある）

利用客数が伸びると非航空系事業の拡大につながる

➤ 道外移動の需要

- ・アニメの聖地巡礼による経済効果（地域活性化）
- ・商業施設を建てる

✓ 道内移動の需要に注目

函館を道内高校スポーツの「甲子園」に

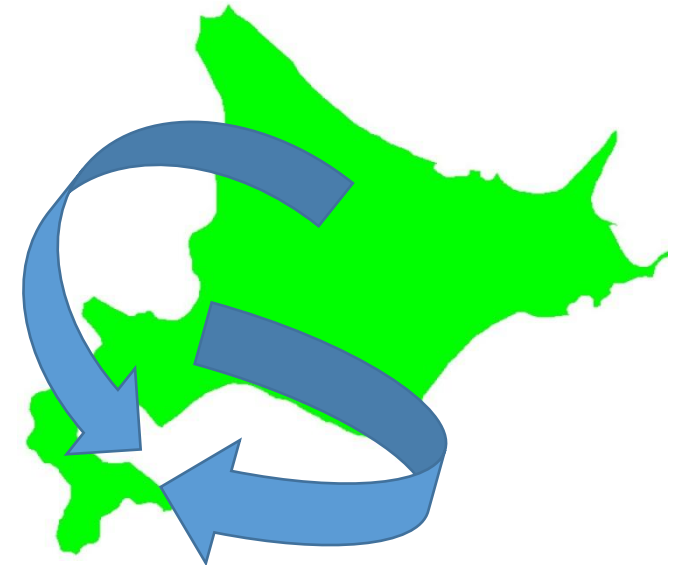
## 例) 函館空港近辺のスポーツ施設を利用

- 函館ではすでに昨年8月に新しく「函館アリーナ」や「函館フットボールパーク」が建設されている
- 函館空港の収支は安定しない
- 地域の特性を生かした目的づくり

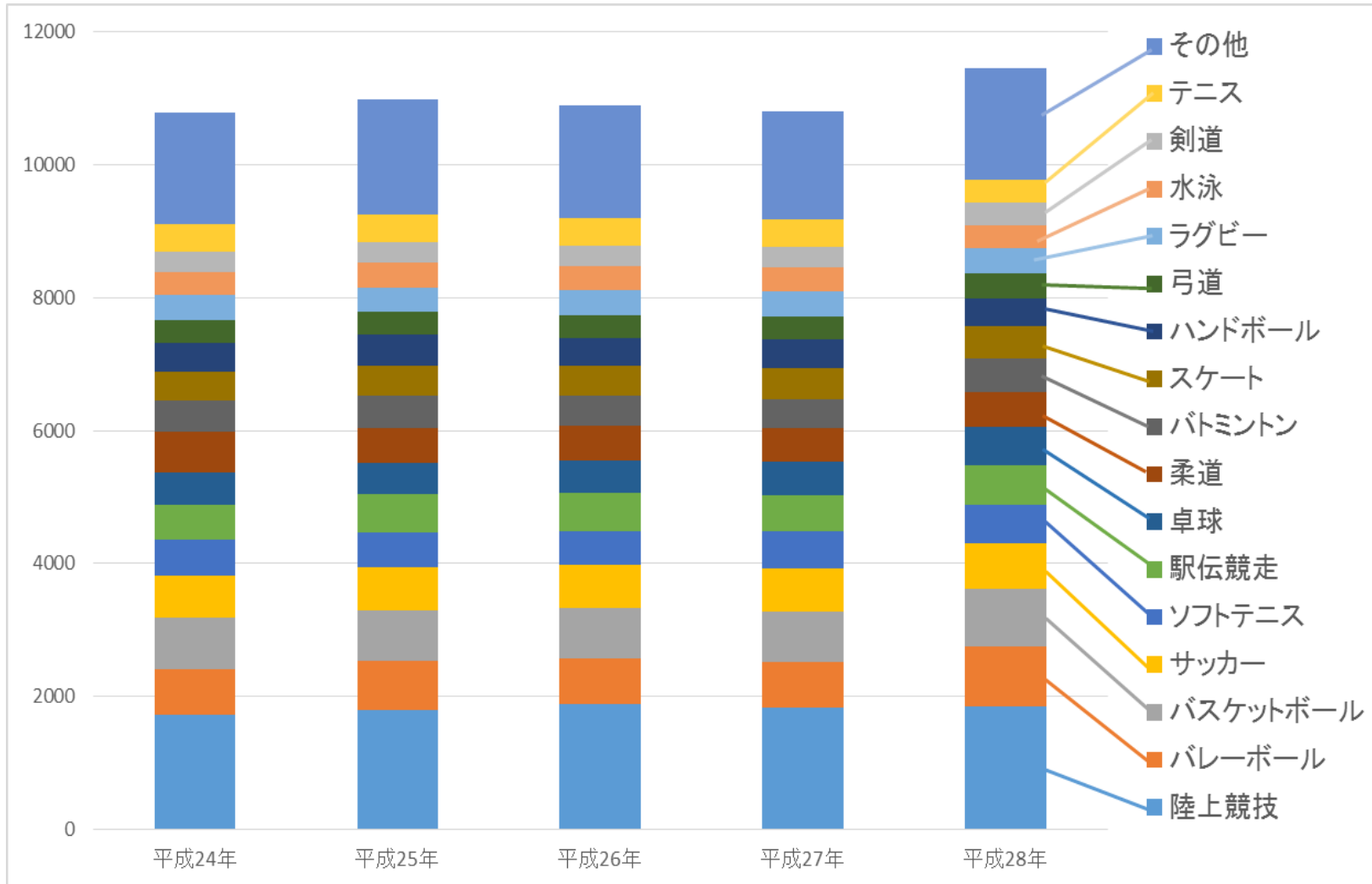
毎年、函館で全道大会を開催する！

# 例) 函館で全道高体連を開催する

- 全道大会は全道各地で開催されており約1万人もの参加者がいる
- 格安航空会社(LCC)のピーチが新千歳を拠点化し新規路線の開設を検討。  
(日経新聞2016年10月8日)  
⇒ 航空機を利用する地域の利用を拡大できる。
- 函館空港近くの函館アリーナなどのスポーツ施設で開催する(開催地を一つにまとめる)  
⇒ 開催地を固定してしまえば毎年一定数は  
(空港に)来る。  
⇒ 空港を利用してもらえる!!!



# 全道高校体育大会参加予定人数



●各空港周辺のアリーナ等を大会会場として利用

↓

毎年一定数の利用客の確保

↓

民営化による空港以外の企業との連携強化も望める

例) 空港利用者を対象とした宿泊施設や交通機関の割引サービス等



# 誘致できれば...

●H.26函館空港の赤字  
(航空系事業＋非航空系事業)  
約4000万円

参考 国土交通省

- 年間一人当たりの収益(収益/利用者数)
  - 新千歳空港・・・¥3489
  - 旭川空港・・・¥843
  - 函館空港・・・¥2207
- 2207(収益)×10000人(高体連参加人数)  
= ¥22,070,000

参考 国土交通省  
旭川市HP

毎年赤字の半分  
約2000万円の収益が見込める

# 全体のまとめ

- 北海道内で、民営化を推進する空港は新千歳、函館、旭川の3つである
- 民営化を確実に成功させるためには地域の特性を活かした非航空系事業との結びつきを強化させる必要がある
- 具体案としてスポーツ施設を有効活用するべきである

# 参考文献

- 「数字でみる航空」国土交通省交通局
- 「空港経営と地域」加藤一誠・引頭雄一・山内芳樹 編著
- 「航空産業入門」ANA総合研究所
  
- 北海道観光入込客数調査報告書  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/irikomi.htm>
- 国土交通省  
<http://www.mlit.go.jp/>
- 北海道空港株式会社  
<http://www.new-chitose-airport.jp/ja/corporate/management/>
- 北海道高等学校体育連盟 <http://www.hokkaido-koutairen.com/>
- 旭川市 <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/index.html>